

町のついで

町のうごき

本籍数	4,696
本籍人口	14,985
世帯数	3,660 (3,652)
住民登録人口	13,909 (13,892)
内 男	6,734
女	7,175

2月1日現在
()内は1月1日現在

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

知事を招き婦人集会

工業開発の講演

真剣に聞く



▲今後の天王町はどう変わる？メモをとりながら講演を聞く婦人たち

毎日の暮しの中に見出される諸問題の解決を図ったり、お互いの生活の向上をめざし、そこから新しい生活、ひいては新しい社会を建設していこう—と、活発な運動を続けている天王町婦人集会も、今年で三年目を迎えた。

この集会は二月九日町公民館 農協、天王町婦人団体連絡協議会が主催となり、町公民館で行なわれ、婦人会員、農協婦人部員、婦人学級生など二百名近く集まった。

今集会の主な内容は、秋田県知事小畑勇二郎氏を講師に迎えての「秋田湾地区大規模工業開発と天王町」と題しての講演。大規模工業開発というのはテレビ、ラジオ、新聞、広報紙等ですでに御承知のように本町を

中心に海面を埋め立てて、工業用地五千八百ヘクタール、港湾用地千六百ヘクタールを造成し、十万トンの船隻が航行できる港湾を建設、また、工業用地には規模の大きい男子型工場を誘致しようとする開発計

画である。この開発計画により今後の天王町は、大きく変貌することは間違いない。これにより他の開発地域に見られた環境、公害等の諸問題で結果的には失敗したということのないようにしなければならぬ。

したがって、この開発の基本的な計画を正しい角度でとらえなければならぬ。その意味でこの集会が開かれた意義は大きい。

開会式のあと知事の講演が始まり、秋田県の現状から出かせぎ問題、工場誘致、内陸工業団地との開発の関係等、キメ細かい数字を含めくわしく説明、次に、どうして大規模工業開発が必要かということはどうして秋田湾がいいのか、開発によってどのような利益があるのか、また逆に、公害等いろいろな諸問題に対してどのように解決し

ていくのか—など、いろいろな角度からわかりやすく理解できるように説明した。

質問も飛び出す

また、この開発についての質問として、

①大規模工業開発のために県外労働者等、いろいろな人たちが天王町に入ってくるため、治安上、風紀上等の問題が起きはしないか。

②工場誘致による労働就業条件、主に賃金の問題での格差が生じないか。

③この問題に対して知事は、①の問題に対しては、多少風紀が乱れる心配はあります。

しかし、開発業者やそれに働く労働者はほとんど県内の労働者で大部分まかなえると考えている。また実際そうしたいと思っ

それでも風紀が乱れることは絶対ないとは言えないが、これを機会になお一層社会教育、青少年の健全育成等そういうものを町民一丸となり力を入れていくことがこれを防止する大きな手段ではないかと考える。

②の問題では、中央と県内の賃金格差は確かにあります。しかし、この格差は一挙に縮めることはできないけれど、だんだんに高めていきたい。

誘致工場の賃金が大幅に高いものになると、地元業者が困るわけで、地元業者より少し高く、また、地元賃金体系をリードしていくような指導をしていきたいと考えている—と、答えた。

このあと昼食後、レクレーションやゲーム、歌などで講演中の緊張から抜け楽しく過ごし、午後三時頃、第三回目の婦人集会を閉じた。

に、第三次産業を含めると約十万人ぐらいと考えています。この開発による工業の総生産額は、二兆五十四億を見込んでおり、現在総生産額の約九倍のものを生産したい—と思っており、今年いっぱい調査期間とし、昭和四十九年頃から工事に手をつけたと考えています。

知事講演要旨

秋田県で一番の悩みは出かせぎです。農家から六万三千人、農家以外の大工、左官等から七千人、合わせて七万人です。秋田県の農家は十二万戸ですから二戸に一戸は出かせぎしている計算になります。

そのほかに、県の人口は毎年一人人づつ減っております。これは、学校を卒業して就職する人の半分が県外に出ていくからです。

どうしたら出かせぎを解消し人口減少を防ぐことができるか

これが一番の問題であります。そのためには、男子型の工場を誘致しなければならぬと考え県内十ヶ所に内陸工業団地を作りたいと考えています。

しかし、これでも全部の出かせぎを解消することはできないので、この工業団地の根拠地となる臨海に工業団地を作る必要が出てくるわけです。そして、この根拠地となるのが、この開発計画です。

そこで、この開発をどのようにしてやるかという点、男鹿から秋田までの海岸を約五千八百ヘクタールを埋め立て、これを造成したいと考えています。

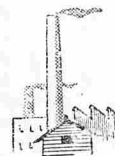
何を作るのかというと、人が多く働けるような製鉄を主体とした工場を誘致し、関連産業を含め約七万二千人が働けるよう

また、上下水道、公園等も計画的に作らなければならない。



考えよう

大規模工業開発 ⑤



漁業は、いつたいどうなるの心配ですが……。

県民に新鮮な魚を

農工一体には、当然、漁業の振興も含まれています。男鹿を中心とする漁業は、秋田県漁業の中核で、その盛衰は、漁業者にとってはもちろんのこと県民全体の生活に關連する大問題です。ですから、工業開発のために、漁業を犠牲にするなどということは、絶対にあってはならないことです。

むしろ、これを機会に、漁業を近代的な漁業として伸ばしていくことを積極的に考えたいと思います。

海の汚染防止

それには、まず第一に、工場からの排水などによる海の汚染を絶対に防止しなければなりません。工場を誘致する際には、事前にきびしくチェックして、その後も引き続き、厳重に監視することにします。

漁業の補償

(羽立片山溜池) 一万一千九百三十一㎡の購入費四百八十五万六千円。これに伴う、造成工事費四百九十五万円。客土事業の4ha分の工事請負費三十三万円などとなっている。

町公民館では、先に読書の普及と向上を図るため、読書の感想文を募集していたが、このほど、その入賞者を発表した。審査には、図書室運営委員があたり、応募総数七十八編のうち、特選七編、入選二十一編が選ばれ、入賞者は三月十一日に行なわれる公民館大会の席上で表彰されます。

【特選】

- 三浦かずよし(天王小一年)
- 加藤勝(東湖小三年)
- 三浦得子(天王小四年)
- 京谷裕子(東湖小六年)
- 内田幸子(天王中二年)
- 渋谷愛子(同三年)
- 佐々木瑠子(下出戸)

【入選】

- 安田清生(天王小一年)
- 藤原めぐみ(同)
- 三浦満(同二年)
- 村山一女(東湖小二年)
- 京谷仁美(同三年)
- 桜庭春彦(天王小三年)
- 菊地美樹子(同)
- 斎藤香保子(同四年)
- 藤原幸子(同)
- 伊藤聖子(同五年)
- 武田ひとみ(同)
- 藤原久美子(同)
- 安田早苗(同六年)
- 児玉美穂子(同)
- 安

◆ 常任委員決まる ◆

岸地区福祉センター建設用地

2月17日に臨時町議会。ことし初めての町議会(臨時)が二月十七日に開かれ、四十七年度一般会計補正予算案を原案どおり可決したあと、同日十六日で任期満了となった常任委員会委員の選任が行なわれ、総務七名、文教社会七名、産業経済六名、土木六名の新委員を選任、同日閉会した。

- ★総務委員会
 - ◎菊地徳治郎
 - ◎鎌田堅治郎
 - ◎三浦兼吉
 - ◎大関与五郎
 - ◎渋谷重助
 - ◎藤原吉治郎
 - ◎安田慶悦
- ★文教社会委員会
 - ◎高橋留吉
 - ◎桜庭周光
 - ◎藤原直一郎
 - ◎佐藤栄蔵
 - ◎吉田新悦
 - ◎米谷多一郎
 - ◎伊藤邦夫
- ◎産業経済委員会
 - ◎渡部政治
 - ◎児玉長栄
 - ◎渡部新一
 - ◎佐々木吉男
 - ◎渡部運吉
 - ◎京谷仁太郎
- ★土木委員会
 - ◎菅生春司
 - ◎桜庭金五郎
 - ◎三浦重春
 - ◎上坂順治
 - ◎薄田国三郎
 - ◎越前屋英三

第二に、工業用地をつくるために、海面の埋め立てをするのですが、漁業者にじゅうぶんな補償が行なわれなければならぬのは当然です。補償については、何よりも、納得のゆくまで話し合いをすることが大事だと思えます。

近代的な漁業に

第三に、単に補償するばかりでなく、引き続き漁業を営んでいく人々に対しては、近代的な漁業経営を伸ばしていけるように、あらゆる措置を講じます。

例えば、苫小牧で実施されたように、適地を求めて新たに漁港を建設し、その周辺に魚の市場や漁民アパートを建てることも考えます。もちろん、このようなことは、漁業者の皆さんのご意見をじゅうぶんに聞いた上で進めます。

その他、県の指導船を使って新しい漁場を開発したり、漁船整備の充実に対する補助や融資を拡充したりするなど、いろいろな方法を組み合わせて援助していきたいと思えます。

入賞者 28 名

読書感想文コンクール

- 田優子(天王中二年)
- 加藤睦夫(同三年)
- 小仲透(同)

15日まで必ず申告を!

町税務課では、二月十二日から町内の各地域ごとに、町民税の所得申告について、その指導と相談にあたり、同時に納税者の皆さんから申告をしていただきたくています。ご承知のとおり、申告をしないといくと、特別控除やその他の控除がされないで、非常に不利となります。

無申告は不利

- ▼三月五日 全町、所得税(町公民館)
- ▼三月六日 塩口(塩口分館)
- ▼三月七日 江川一、二区(江川児童館)
- ▼三月八日 江川三、四区(江川児童館)
- ▼三月九日 本町、下町、西荒町、東荒町(戸主会事務所)
- ▼三月十日 曲町上、曲町下、(戸主会事務所)
- ▼三月十二日 旭町、神明町、上荒町(戸主会事務所)

エンズメ

冬季の飯ビツ入れで食品保温のワラ工品。県内広く使用されたもの。底にワラを入れ飯ビツを布に包んで、この中にに入れてフタをすて

今月中に手続きを

四十八年四月から、児童手当て制度の支給範囲が広がり、十八歳未満の児童三人のうち、四月一日現在で十歳未満の児童がいれば、支給対象となります。四月から、新たに該当すると思われる方や児童手当ての額がこれまでより、ふえると思われる方は、今月中に役場民生係で請求の手続きをしてください。

老人医療のお知らせ

老人の方が、お医者さんにかかる時の「老人医療費請求書」は、地区の民生委員にも備え付けてありますので、ご利用ください。

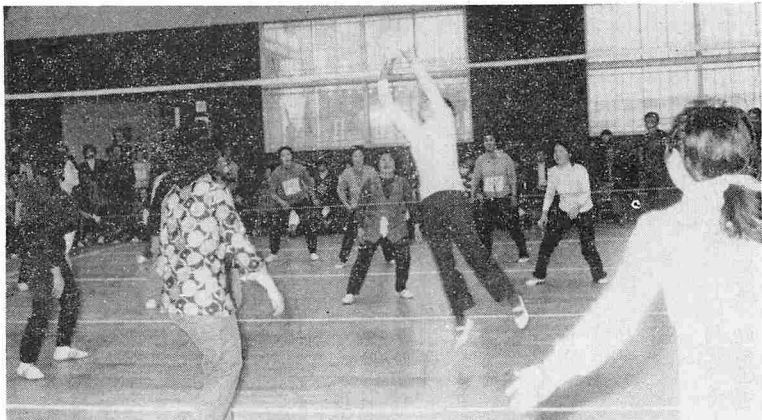


民具の紹介



第十九回家庭バレーボール大会が、二月十八日の日曜日、町公民館体育館と新装なった天王小学校体育館の両会場で、四部にわかれて行なわれ、熱戦を繰り広げた。

父ちゃんガンバレ！ 母ちゃんガンバレ！ 第19回 家庭バレーボール大会



当日、参加したチームは、女子が若妻の部十三、主婦八の二十一チーム。男子が青年の部八、壮年七の十五チームで、男女あわせて、いままでの最高三十六チームが参加、初出場組は、若妻の部に参加した中羽立と蒲沼の二チーム。

午後四時過ぎ、各部とも続々と決勝戦へ名をあげる。そして、いよいよ決勝戦。入場行進を行ない国際試合を思わせる。決勝戦で、特に激戦だったのは、若妻の部の大崎—上出戸の一戦。セットカウント一対一で迎えた三セット目は、十二—十二、十三—十三と追いつ追われつの大激戦。ついに十四—十四まで持ち込まれ、あと一点を先取した方が優勝決定とあってそれまで、にぎやかだった大観衆もシーンと静まり返り、かたずをのんで見守った。

そして、ラリーが続いたあと大崎チームの打ったボールが、無情にもラインアウト。主審のホイッスルと同時に、場内は騒然となり、上出戸チームの優勝が決まった。

今日大会は、いままでの最高三十六チームが参加した訳だが、底辺拡大のためにも全部参加までこぎつけようと、町公民館では、いまから次回の対策を練っている。

▶激しいラリーの応酬
若妻の部決勝戦(上出戸—大崎)

3月11日に9人制バレーボール 申し込みは七日まで

町バレーボール協会と体育協会では、三月十一日の日曜日午前九時から、追分長沼の五洋電子体育館で、二回目の「九人制バレーボール大会」を行ないます。

【チーム編成】

資格は、男女とも町内に居住している人で、満十六歳以上。正選手は一チーム九名で、補欠三名、監督一名の計十三名と成っており、高校、大学生は四

ちに試合に移り、各チームとも練習量の豊富さを物語るかのようになり、一回戦から好ゲームを展開した。大応援団も、選手に負けじと「ソーレ、ソーレ」の声援。チビッコも混じって「父ちゃんガンバレ、母ちゃんガンバレ」と、黄色い声をはりあげ

【申し込み】
三月七日午後七時まで、メンバーと参加料五百円を添えて、二田新町の三浦弘まで申し込むこと(電話では、受け付けない)。監督会議(抽選も含む)は、大会当日の午前九時から会場で行ないます。

装をもっと手軽に、監督の立ち場をもっと自覚すること——などをあげていた。

- 当日の成績は次のとおり
- 【女子】
 - ◎若妻の部
 - ①上出戸 ②大崎 ③塩口
 - ◎主婦の部
 - ①児玉 ②二田 ③天王竹
 - 【男子】
 - ◎青年の部
 - ①大崎 ②上出戸 ③天王八坂
 - ◎壮年の部
 - ①天王八坂 ②出戸新町 ③二田

交通ルールを守ろう

増加している死者、重傷者

本町の昨年の交通事故状況は(表1)のとおり、件数、軽傷者は減っているものの、死者、重傷者は増えており、四十七年一月と四十八年一月を比較しても(表2)のように、死亡者は一名から二名に増えています。これ以上、事故を増やさないため、連日、交通指導隊、交通安全協会の指導車によるパトロール、警察の取りまわり、婦人会によるステッカーの配布など

目と耳で交通事故防止を呼びかけています。しかし、まだ運転者側の夜間ライトの切り換えをしないまま走り回る悪質運転者、酔っぱらい運転、無灯の自転車乗用者が目立っています。歩行者側では、幼児を車道側にしてつれて歩く親、子どもを道路上で遊ばせる親、また、道路いっぱいにして歩く児童生徒など、マンナーの乏しさも見受けられます。

交通事故状況 (表1)

区分	件数	死者	重傷者	軽傷者
46年	82	0	26	103
47年	69	1	28	80

(表2)

区分	件数	死者	重傷者	軽傷者
47年1月	4	1	2	11
48年1月	5	2	1	3

万一の事故に 備えよう

家族ぐるみで 交通災害共済へ

新聞、テレビなどで、毎日のように悲しい交通事故のニュースが報道されています。本町でも、二月十一日現在ですでに六件の交通事故が起こり死者二名、傷者六名を出しています。皆さんを交通事故から守ると

ともに、不幸にして交通事故にあった人たちを救済するために、県内七市六十町村で「交通災害共済組合」を組織しています。

かけ金は年間三百円

本町では、四十八年一月一日までの間に共済金を受けた件数が十七件で、金額にして百六十一万円となっており、かけ金の六十二万五千二百円を大きく上回っています。

この共済のかけ金は、ひとり年間三百円で、傷害の程度により五千円から五十万円まで支給されます。

出かせぎ証明書を 発行しています

この制度は、県内のみに通用する制度ですが、県外へ出かせぎにいった方でも適用させるため「交通災害加入者出かせぎ証明書」を発行しています。これは、いままでとちがいが住民票を持って出かせぎに行つた場合だけ発行され、本町に住所を残して出かせぎに行く場合は必要ありません。この証明書は、役場総務課で発行しています。

親は、子どもの交通安全についての重要な担い手であること認識し、交通規則の基本的な知識を身につけ、自らそれを守り、交通安全について、家族の話し合いを進めてほしいと思います。

特に、これからの新入学シーズン控え、子どもの手本となるよう、努力してほしいと思います。

運転者も歩行者も交通ルールを守り、これ以上、交通事故を起こさないようにしましょう。

五万円年金は完納から

国民年金

ことは「年金の年」といわれていま

「国民年金」でも「夫婦で月五万円年金」を実現させよう

法律が原案どおり改正されま

このため、職種をかえ、いく

良質米生産者ほう賞

優秀賞に二十名

このほど、昭和四十七年度産

審査は、十二月現在で、百俵

通算年金制度とは？

わが国の年金制度は、国民年

三月

追分西 渡部 六愁

三ヶ月の酒蔵夜も濃く匂う

年金制度をいいます。

- 一、国民年金 二、厚生年金 三、船員保険 四、国家公務員共済組合 五、地方公務員等共済組合 六、公共企業体職員等共済組合 七、私立学校教職員共済組合 八、農林漁業団体職員共済組合

慶弔だより

誕生おめでとう (二月中)

天王	ハラヘ	天	王	道	合	持	谷	地	天	王	北	野	上	北	野	松	田	天	王																
鎌	田	健	一	山	剛	直	美	智	一	大	野	庄	一	長	菊	地	重	新	目	健	治	男	長	上	村	千	代	夫	長	米	谷	深	雪		
二	山	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田	二	田

職安で

出かせぎ選考会

直接、会社側と面接

二人の前途を祝福します

各部が単独でスタート

申し込みは15日まで

町体育協会では、このほど臨

羽立

安田金幸

【渋谷】

桜庭藤作、桜庭フヂエ

【中羽立】

菅生長太郎

善意ありがとう

追分の高橋留吉さん(五十

追分西 高橋 勝 (25才)

心配ごと相談室

今日は、五日、十二日、十

おくりやみ申上げます

下戸	佐々木和春 (22才)
塩口	桜庭 桑藏 (65才)
二田	小沼 博 (21才)
二田	伊藤 辰藏 (80才)
二田	石川タケノ (77才)
一	上沖中谷地 三浦東市 (78才)
不動下	木元 道秋 (23才)
御休下	伊藤 ミツ (69才)
児玉	佐藤 久子 (0才)
二田	渡部 政吉 (78才)
北野	初山 ノエ (77才)
追分西	高橋 勝 (25才)